

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	大阪発達総合療育センター あさしお園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月8日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和7年1月8日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 9
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月8日		～ 令和7年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 33
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などが訪問することができる	依頼内容に応じて、訪問する職種を決めている	訪問する前には他職種からの情報収集を行う。訪問後に、施設内で情報共有する
2	施設内での集団保育に関わっているため、子どもの様子から情報収集ができる	集団保育の中での課題を担当者間・保護者で共有する	来園の機会が少ない方への定期的な聴き取りを意識する
3	保育施設職員対象の研修会を開催している	保育所訪問時に質問を受ける内容などからテーマを選択する	研修会は継続して開催していく。 テーマを参加者の意見を元に選択し、相互交流につながる内容にしていく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育業務との日程調整が難しく、依頼を受けてから訪問するまでに期間が空いてしまうことがある	訪問できる職員に限られる	訪問できる職員を増やすための職員研修の実施
2	保護者の依頼と保育施設の状況に違いがある場合がある	保護者の依頼を受けて訪問しているため、保護者側からの困りごとに偏る場合がある。 行事の参加等に場面が限定され、普段の様子の共有がしづらいことがある。	学校・園からの困りごとなども聴き取り、行事以外の訪問の必要性を検討し、保護者様に相談し、ご依頼を頂く
3	訪問での支援内容が、訪問している個人に委ねられている感が強い	業務の都合もあり、一人で訪問することがほとんどである	依頼内容によっては、児発管の動向や指導的立場の職員の動向を検討する